

ROTARY INTERNATIONAL
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 365

YOSHIYUKI OKAJIMA

c/o NICHIMEN CO.,
P. O. BOX CENTRAL NO. 18,
OSAKA, JAPAN



NO. 6 November 15, 1965)

ガバナー月信 第6信 (昭和40年11月15日)

第365区ロータリークラブ
会長 並びに 幹事 殿

国際ロータリー第365区ガバナー

岡 島 美 行

ロータリー60年記念 西日本連合地区大会報告



年間の最大行事である地区年次大会は10月22～24の3日間、秋晴れの京都市において開催、参加者 7,626人という西日本空前の大会となり、世界大会にも匹敵するほどの盛大豪華な絵巻をくりひろげました。「ロータリー60年記念西日本連会地区大会」の名をもって開かれたこの大会は、国際ロータリー会長ティーンストラさん個人の代理としてチャー



R. I 会長代理 ペテンギル氏御夫妻

ルズ・W・ペテンギルR. I. 直前会長臨席の下に、富山、石川、長野、愛知、岐阜、三重各県を含む第360区、近畿の第365区、兵庫および四国の第368区、山陰山陽の第369区、九州一円の第370区の5地区が名をつらね、文学どおり日本西半分の335クラブが全部出席、また東日本地区と海外からも75クラブが参加しました。最初に登録委員会の報告によって参加クラブ数、会員数、家族数を掲げます。

参加クラブ数	会員数	家族数	合計	
第360区	79	917	420	1,337
第365区	69	1,722	708	2,430
第368区	65	1,061	464	1,525
第369区	50	521	291	812
第370区	72	651	447	1,098
東日本地区	70	148	108	256
海外より	5	45	2	47
来賓	—	60	47	107
奨学生	—	—	14	14
合計	410	5,125	2,501	7,626

本大会は上記5地区ガバナーの共同責任によって、前年秋の地区大会直後から1カ年に

及ぶ周到な準備が進められたもので、絹川清君（京都RC）を委員長とし5地区から1人ずつ選ばれたプログラム委員が5回にわたって京都および大阪に会合、慎重に検討のうえ実行に移されたものですが、この実行を引受けたホストクラブ京都RCの筆舌を越えるご苦勞に対し、また、応援に当たったコホストの京都市内各クラブをも含めて、深甚な感謝の意を表したいと思ひます。

以下、プログラムの順序に従って大会のハイライトを記録します。

◇前夜懇談会（10・22・金）

ところ 京都市祇園・歌舞練場

とき 午後3:00～3:30 登録

参加者は5地区の会長・幹事 651人のほか来賓としてRI会長代理ペテンギル、同夫人をはじめ

小林元RI第一副会長、東ヶ崎直前RI第二副会長、全国より元、前、現ガバナーら合せて59人、合計710人。

午後3:30開会、第365区岡島ガバナーの来賓紹介とあいさつがあったのち、第360区安野直前ガバナーのリーダーの下でただちに協議懇談に入る。協議題目つぎのとおり：

- (1) ロータリー60周年に当り日本におけるロータリーの開拓者に対する感謝の件（説明：大阪RC塚本義隆君）
- (2) 国際ロータリーの理事会構成を現状に適合するよう改善要望の件（説明：京都北RC秦孝治郎君）
- (3) 1966年デンバー国際大会への提出議案および規定審議会への地区代表選挙の件（説明：名古屋RC吉田市郎君）
- (4) 国土を緑と花で美しくする運動推進の件（説明：京都RC堀内清君）
- (5) 1969年ホノルル国際大会に日本より多数出席奨励の件（説明：横浜RC永沼政久君）

(6) 米山記念奨学会に未加入の若干クラブに対し加入を奨める件(説明:元R I副会長小林雅一君)

(7) 本大会ホストクラブ、コホストクラブに対する感謝の件(説明:軽井沢RC)

(8) 明年度各地区大会開催地決定の件(説明:神野 360区ガバナー)

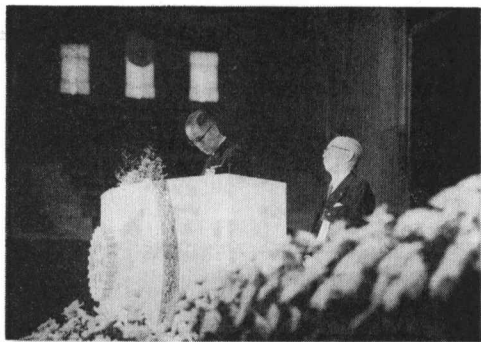
午後5:15 協議終了,余興に入る。「だらりの帯」の舞妓さんが「都おどり」を上演するステージで,今夜は日本舞踊の巨匠井上八千代さんの「竹生嶋」つづいて,祇園ねえさんたちの舞「高砂丹前」を觀賞。終って模擬店式の夕食会があって午後7時半散会。

◇大会第一日(10・23・土)

ところ 京都市西京極・京都市体育館

とき 8:00~10:00 登録

室内大競技場にいすをぎっしりならべ,さらに周囲の觀賞席を合せて7,000人を収容するマンモス会場も,開会前には文字どおり,りっすいの余地なく,到着のおくれた会員



365区ガバナーノミニ紹介

壇上ガバナー 右隣り北村ガバナーノミニ

家族たちは場外にあふれ,その数1,000人。ホストクラブが万一に備えた中継用の場外のテレビ受像機が役に立った有様。二階觀賞席から場内を見渡した光景は4年半前の東京・晴海における国際大会の第一会場と全く同じ感じを受けるほど雄大でありました。

午前10時,西村大治郎大会幹事(京都R

C)の開会宣言によって開幕,ソングリーダー藤山一郎君(東京西RC)の指揮で「君が代」「奉仕の理想」を大合唱ののち,つぎのプログラムにより進行しました。

開会のあいさつ	岡島365区ガバナー
歓迎の辞	山中ホストクラブ会長
同上	高山義三 京都市長
メッセージ	ベテングルR I会長代理
物故会員へ黙禱	竹原369区ガバナー
祝辞(代読)	金鐘仁韓国ガバナー
ガバナー・アドレス	5地区各ガバナー
登録委員会報告	藤井委員長(京都)
(休憩昼食)	

新クラブ28紹介	各地区ガバナー
資格審査委員会報告	井口竹次郎委員長(大阪)
記念講演「ロータリー60年を顧みて」	

	鳥養利三郎元ガバナー
選挙委員会報告	小林秀雄委員長(神戸)
新ガバナーノミニ紹介	

	各地区ガバナー
同 あいさつ	各ノミニ

余興	司会	宮田輝(NHK)
「京の四季」		祇園甲部舞妓連中
ロータリー五人男		元ガバナー有志

(伊藤,中牟田,米原,三宅,緒方)

宝塚踊り絵巻	宝塚歌劇団花組
--------	---------

(散会午後4:15)

◇大会第一日のハイライト

○高山京都市長の歓迎の辞は,ありふれたそれだけでなく,同氏が最近京都クラブの名誉会員に推薦されたこと;前例を破って市の体育館を大会のため開放したこと;本日のロータリー大会に市長を出席させるため,京都市会が開会を午後延刻するという異例の処置をとったこと;R I会長のメッセージの一節(二人の人間が山中で出会って兄弟とわかった物語り)を読んでロータリーに対する認識を改めたこと;などを話され満堂大いに感動。

○正午前,プログラムにない一幕が展開されました。すなわち,シンガポールRCのA

ーサー・テバタサンR I 理事（4年前R I 会長代理として福井大会へ出席したことあり）からはるばる飛行機で蘭花の一鉢が届けられ、それが卓話台に飾られたとたん、壇上の電話ベルが鳴って、テバタサン本人から、出席中の東ヶ崎R I 直前第二副会長を呼び出し、大会の成功を祈るあいさつを伝えました。つづいて今度は、R I 中央事務局東半現部長ドワイト・パタソン君に電話がつながり、会長代理として出席中のペテンギル氏が、本大会盛況の模様を壇上からエバンストンへ報告しました。このシンガポールおよびアメリカへの電話連絡はいずれも、国際電信電話KK 黒田義晴君（大阪RC会員）サービスの出演でありました。

○鳥養利三郎氏の記念講演は、60年前ロータリーの創立当時、日本は帝政ロシアと戦争最中であったことから説き起し、戦争と平和の問題、さらに、日本が過去45年間に世界第3位のロータリー国に躍進したについては、その間多くの人の知らない、苦難と努力の連続であったことなどを語り、聴衆に深い感銘を与えました。

○ペテンギル氏によってR I 会長のメッセージが30分にわたり英語で伝えられた。その結語において、今日、混乱の世界が必要としているのは「愛と理解」であると説き、ロータリーこそはこの二つを豊富に供給できる一大組織である。われわれはビジョンをもって、全人類が平和と調和のうちに生活できる世界を未来につくることを夢みようではないか、と訴えました。

◇部門別協議会（四大部門）

午後4時30分から5時30分まで四大部門別の協議会が開催されました。例年の地区大会

では、クラブサービスを2または3に分け、また、社会奉仕のうち、青少年部門を独立討議する慣例ですが、本年は参加者が各部門とも、1クラブ1人ずつとしても、335人の多数に及ぶので、会場の都合もあって、四大部門別としました。本会議場に近い光華女子学園と京都外国語大学の教室が会場に当てられ、前者はクラブサービスおよび職業奉仕、後者は社会奉仕と国際奉仕（インターアクトを含む）としました。各部門のリーダーは次のとおり。

クラブサービス	堀内 清	365区直前ガバナー
職業奉仕	滝川清一	368区 "
社会奉仕	正岡 旭	369区 "
国際奉仕	町田秀美	370区 "

本会議が4時15分に終了後、部門別協議会出席者は、そのあと1時間あまり残ってロータリー活動各分野について熱心な勉強をしたわけです。参加者はクラブサービス部門303人、国際奉仕部門 320人と報告されました。



「余興」ロータリー五人男 パストガバナー有志

◇ガバナー・ノミニー選挙

各地区とも指名委員会の推薦したノミニー候補以外には対立候補が誰れも出なかったので決議委員会は投票を用いず、次の5君をそれぞれの地区の次年度ガバナー・ノミニーに宣言、大会は滞場一致これを承認しました；

- 第360区 岡田 良介 (金沢) 外科医
 第365区 北村孝治郎 (大津) シニア・アクティブ
 (商業銀行)
 第368区 難波 紋吉 (西宮) 女子教育
 第369区 古瀬 庸 (松江) 眼科医
 第370区 吉村 常助 (熊本) 日本酒醸造

なお、上記5名のノミネーは明年6月、アメリカ・デンバー市の国際大会における規定審議会の各地区代表に選挙されました。

◇大会晩餐会

恒例の記念晩餐会は遠来のロータリアンとの懇親を深めるためのよい機会として重要視されていますが、本年の連合大会はなにぶん7,600人を越える多数であり、到底一堂に会食することが不可能であるため、希望者のみの晩餐会にとどめて、京都市内の4ホテルに各1,000人ずつ割り当て、ホストクラブおよびコホストクラブが案内その他のお世話をしました。

京都ホテル	360区, 368区
京都タワーホテル	365区
京都国際ホテル	369区
都ホテル	370区, 東日本各地区

◇大会第二日 (10・24・日)

ところ 京都市岡崎・京都会館
 第2会場 勤業館「友愛の家」

とき 10:00~17:30

第二日は会議場を市東部岡崎の京都会館第1ホールに移しましたが、収容人員2,500人であるため、道路をへだてた向側の勤業館に「友愛の家」を設けて、ここへテレビ受像機を20台備えて本会議場の状景を中継映写しました。「友愛の家」には京都伝統の民芸展示と実演(10店)が行なわれ、さらに裏千家の野点席や、模擬店(25店)が飲みもの食べものを提供したほか、各種の余興(島原の太夫道中、先斗町の「祭り」囃子、白川女の花踊り、また、京都会館第2ホールではキモノ・

ショーなど) 京都情緒が いっぱいでした。「友愛の家」の前庭には「菊水鉦」が組み立てられ、時節はずれながら祇園祭のコンチキチンの鉦と笛のメロディが流れました。大会第2日のプログラム:

- 部門別協議会報告 各リーダーより
 奨学生のスピーチ セモア・リットン(カナダ)
 講演「汗と人間」 久野 寧(京都RC)
 出席優秀クラブ表彰(昼食時間, 第2会場)
 パネル討議「ロータリーよ何処へ」
 決議委員会報告と採決 368区宮本ガバナー
 RI会長代理へ記念品贈呈 370区島津ガバナー
 ベテラン・ロータリアン表彰
 (20年以上の会員169人)
 参加クラブ代表あいさつ 鹿児島RC有馬会長
 余 興 能楽「船弁慶」金剛 巖
 舞踊「神田祭」市川右太衛門
 シャンソン 越路吹雪

◇大会2日のハイライト

○奨学生リットン君(カナダ)のうますぎる日本語スピーチに満場感心。同君は京大文学部で宮本武蔵の「五輪の書」を研究中で“森武造”と自分の名前を付けたと披露。「森」はカナダの代表産業のつもりだそうです。なお、豪州からの奨学生ウィルソン君、ほかに米山奨学生12人が出席していました。

○ペテンギルさんへ贈る記念品として、高さ2メートルの部厚いBook形の箱がステージへ持ち出され、その表紙(?)には彼の昨年のターゲット“Live Rotary”の金文字が見えています。箱をあけて取り出されたのは6枚折りの金屏風2双で大拍手。また、Madeline 夫人には京友禅の羽織が贈られました。

○パネル討議のモデレーターは松本兼二郎370区元ガバナーが、また、パネラーにはつぎの5君が当り、将来のロータリーのありかたについて、中味の充実した、活潑な意見が開陳されました。

名古屋西RC 加藤恭太郎
大阪RC 平井 好一
徳島RC 伊藤半次郎
下関RC 梅崎 普一
宮崎RC 岩切章太郎

○講演「汗と人間」の講師久野寧氏は京都のロータリアンでその道随一の専門研究家ですが、きわめて通俗的に、人体の不思議な自然調節構造について有益なお話を伺うことができました。

○大会決議は7項目あり、森下弘決議委員長の詳しい説明ののち全部満場大拍手をもって可決されました。(1) 国際ロータリー会長代理派遣に感謝 (2) 日本におけるロータリーの開拓者 および 指導者に対する感謝 (3) ロータリー60年を契機としてRIの組織および会員活動を強化する件 (4) 国土を緑と花で美しくする運動の推進 (5) 直前ガバナーに対し感謝 (6) ホストクラブ・コホストクラブならびに関係諸官庁・諸団体に対する感謝 (7) 次年度各地区大会開催地決定の件。

上記のうち、(2) (3) (4) はロータリー60年記念連合大会としてきわめてふさわしい決議でありました。(3) はRI理事会構成の改善を要望したもので、その具体提案作成のため6人の特別委員を選任して問題の処理を付託することに決議されました。

◇観光・ゴルフなど

前夜懇談会当日(22日)には「時代祭」観覧希望者のため京都御所内に約4,000人の特別席が設けられました。また、大会終了後(24日夜および25日)には3,000人を越える会員家族が13のコースに分れて日帰りの観光に参加しました。

懇親ゴルフ会は22日(金)京都コースおよび城陽コースの2カ所でABCDEの5グル

ープに分けて行なわれ、298人が参加しましたが、Aグループ(城陽)では大会委員長長大倉治一君夫人喜子さん(H.17)がネット67で優勝、ガバナー杯を獲得されました。

再び専門的訓練のための補助金

Awards for Technical Training. again

本件に就いては9月15日附月信(第2頁)に記述して置きましたが、ロータリーの友10月号の19頁にも詳細載って居りますから、御知らせ致します。又申込書々式が最近手許に届いて参りましたので御入用の向は申し出下さい。

研究グループの交換

Group Study Exchange

本件は「研究グループ交換計画発表」と題して詳しい報告が10月号の国際ロータリー・ニュースに出て居りますので茲に詳細を再述することを省略しますが、このプログラムによると年令22歳より30歳までの青年事業家および専門的職業人6名よりなる研究チームを組み合わされた地区間で2カ月間交換訪問をすることとなります。1966—68年度研究グループ交換と補助金の受け付けについてはロータリー財団管理委員会で40地区までを限度に選考いたします。本計画に参加希望の地区は1966年1月31日までにエヴァンストンの事務局へ申請書と旅行計画を提出を要します。

又、本年度研究チームを派遣する地区は翌年度組み合わせ地区より研究グループを受け入れることとなります。尚申請書提出の前に地区内クラブの2/3の同意表明を得なければなりません。申請書用紙及び説明書リフレットは最近文献東京事務所から送って参りましたので御入用の方はお申し出下さい。